

注目！ 中学校の部活動



全国大会に出場した飯岡中野球部県大会の様子

課外活動である部活動は、授業や学校行事とならび、中学生の成長に重要な役割を担っています。技術面の向上はもちろん、礼儀や社会的なマナーを学び、努力や仲間の大切さを味わうことができる価値あるものです。

市内各中学校の現状は

生徒数の減少と対応

活動内容によっては、メンバーが足りずにチームが組めないという状況にある部もあり、各校ではこのような試みをしています。

●他校との連携

毎日の練習に励む生徒が、一人でも多く出場できるように、他校と合同チームで大会などに参加しています。

ただし合同チームを組むことには制限があるため、今後は根本的な対応が必要となります。

●部活動のあり方を検討

それぞれの学校の実情に見合った部活動のあり方を検討しています。

指導者(顧問)の配置

生徒数減少に伴う職員数の減少は、指導における専門的な知識の配慮が必要であったり、顧問を兼務したりするなどの影響が出ています。

●「旭市課外活動支援事業」で学校や子どもたちを応援

市内では、専門的な指導力を持つ11人が、学校長の推薦による課外活動指導者として、顧問とともに指導にあたっています。

子どもたちが、夢を持ち、健やかでたくましく成長できるように、今後も地域ぐるみで、支援体制の充実を図っていきます。

～文部科学省が部活動の適切な運営について通知～

文部科学省の調査によると、部活動を週あたり6日以上実施している中学校は全国で6割を超え、生徒・教職員の健康や長時間労働などの課題も指摘されています。バランスのとれた生活に配慮し休養日を設定するなど、適切な部活動運営に関する通知が出されています。

第14回 みんなの学校自慢

海の声が聞こえる みんな仲良し 矢指小



矢指小6年
細山 侑愛さん(左)
上田 大貴さん(中)
小林 莉緒さん(右)

矢指小は海からの波音が聞こえ、162人が仲良く集う、居心地の良い学校です。そんな矢指小の自慢は4つあります。

まず校舎がとても綺麗なことです。新校舎になって大きな教室の窓や天窓から快い風と日差しが入り込み、明るく風通しの良いつくりになっています。

2つめは床暖房があるところです。冬には床暖房で教室が心地よい温度に保たれ、床で日向ぼっこを楽しみたくなります。

3つめは校舎内が広いだけでなく、グラウンドも広い

ところです。休み時間には、学年を越えて鬼ごっこやドッジボールをするほど、みんなが仲良しです。

最後に友達ができやすいことです。少人数だからこそ、全学年のみんなの名前が覚えられ、友達がたくさんできる良さがあります。毎日の休み時間だけでなく、さまざまな行事で高学年と低学年がペアを組み、たくさんの時間を一緒に過ごしています。また長い廊下には、全てのクラスが勢揃いしているため、廊下を通ると他の学年のみんなから話しかけられたり、手を振られたりします。

私たちはそんな居心地の良い矢指小が大好きで、自慢の学校です。



力を合わせて大玉送り(運動会)